アメリカのNPO ⑧

NY高齢者住宅事情

医療系NPOが運営

ニューヨーク市内マンハッタンから北の方へ約二〇分車でドライブすると、ハドソン川を見下ろす広大な敷地を所有する高齢者住宅「アンドラス・オン・ハドソン」がある。ここを経営しているのは、「ベス・アブラハム医療サービスファミリー」という介護関連住宅やコミュニティベースの医療ケアを提供するNPOで、第一次世界大戦直後に運営を始めたという伝統ある組織である。

ニューヨークで慈善活動をはじめたユダヤ人は多いが、このNPOもユダヤ人女性ベルサ・アルパースタインさんによって設立された。

ベス・アブラハム医療サービスファミリーは現在、ニューヨーク州内の介護施設の中で、規模としては五本の指に入っており、一九〇〇人の職員を雇用する大組織である。アンドラス・オン・ハドソンは、このNPOの持つ高齢者住宅の一つであるが、他の施設と違うところは、別の人によって創設されたが、経営が行き詰まり、ベス・アブラハム医療サービスファミリーに吸収されたことだ。

アメリカではこのように、経営が行き詰まったNPOを他のNPOが吸収合併することは珍しくなく、企業のような経営スタイルを目指すNPOも多い。

NPOの施設に高い評価

CCMなど多彩なサービス提供

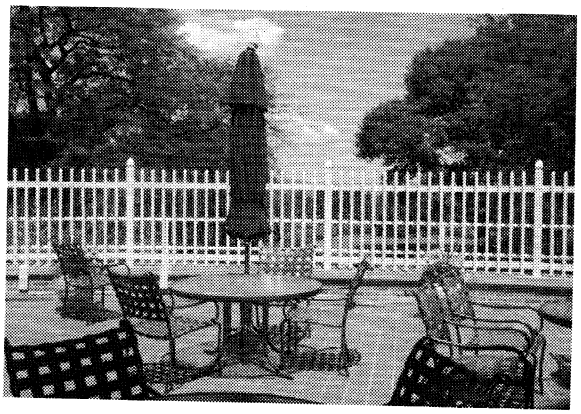
ベス・アブラハム医療サービスファミリーの得意とするのは、CCMと呼ばれる包括的ケアマネジメントで、介護を必要とする高齢者に医療的、社会的、余暇資源を総合的に提供するものである。アンドラス・オン・ハドソンのような高齢者住宅以外の施設では、デイケアセンターや病院、緊急医療、看護、ソーシャルワーク、さまざまなセラピー、医薬品の提供や送迎など在宅サービスにも力を入れている。

介護付き住宅アンドラス・オン・ハドソンは、二四時間警備、週に一度の部屋の掃除、メンテナンス、銀行出張サービス、送迎、好みに応じた選択食などのサービスがある。住宅なので、部屋のタイプに応じて金額も異なる。部屋は大きく、スタジオ(一ルーム)、一ベッドルーム(リビングと一部屋)、二ベッドルーム(リビングと二部屋)に分かれており、また、広さやバルコニーの有無によって金額は異なる。さらに、購入金額の一割を払うことでさまざまなサービスを受けられるようになっている。

アンドラス・オン・ハドソンの魅力はなんといっても、窓からの景色で、ハドソン川を見下ろす景色は絶品である。また、庭の管理も徹底されており、緑が美しい。そんな庭を見ながらゆったりとしたレストランで毎食事を頂く。食事は飽きないよう、あらかじめ決められたメニューの中から選べるだけでなく、希望すれば入居者の訪問客も実費で食事できるようになっている。

アメリカの老人ホームや介護住宅はその施設によって差が大きい。営利企業の経営する施設は悪評も多く、営利が上がらないとすぐにビジネスを一方的に中止したりすることもある。一方、NPOの経営する施設では長期にわたり運営を続け、評価が高いところが多い。施設はその人の生活スタイルを決定付けるので、選択は慎重に行いたいものである。

(ウイマラシリ・ヒロミ AARPボランティアコンサルタント)



アンドラス・オン・ハドソンのテラス